2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	英語と英会話		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	竹内　ひとみ	実務経験とその関連資格	高校・大学の英語教育現場での長年の経験をもとに、より効果的な英語教育を目指す。また、アメリカ・イギリスでの留学経験や海外実習に同行した経験から、医療現場に必要な英語及び文化的背景を含めた英語指導を行う。			

《授業科目における学習内容》

グローバル化といわれる現代において、英語を使ったコミュニケーション能力を養うことは大切である。 この授業では、国際教育の一環として、リハビリテーションに関する英語を理解するとともに英語による自己表現のしかたを学ぶ。また、海外実習に役立つ実践的な英語表現を学ぶ。ロールプレイなどの実践を通じて、4技能(読む・書く・話す・聞く能力)を養う。

《成績評価の方法と基準》

課題提出(30%)　小テスト(30%)　最終テスト(40%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

リハビリテーションの基礎英語(第3版)　Basic English Textbook for Learners of Rehabilitation Sciences, 3rd Edition
その他必要な資料は授業中に配布する。

《授業外における学習方法》

リハビリテーションに必要な英単語や表現を覚え、ロールプレイにより実践しながら英語を身につけていく。 個々の学生の意欲や姿勢が大切です。

《履修に当たっての留意点》

理解できなかった単語や聞き取れなかった英文などは、授業の中で解決すること。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療の現場で使われている基本的な専門用語を理解することができる。挨拶など基本的な英語表現を使って自己表現をすることができる。	テキスト「リハビリテーションの基礎英語」その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 シラバスの確認(20分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Introduction Warm-up		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションに関する基本的な英単語を理解し、文章を読み解くことができる。	テキスト「リハビリテーションの基礎英語」その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 前回の授業内容を確認(20分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Introduction (Exercise and the Body)		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの歴史や定義を英語で学び、その概念を理解することができる。リハビリテーションに関する基本的な英単語を理解し、文章を読み解くことができる。	テキスト「リハビリテーションの基礎英語」その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 リハビリテーションの定義を読む(15分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの定義 Chapter I(What is Rehabilitation?)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの歴史や定義を英語で学び、その概念を理解することができる。リハビリテーションに関する基本的な英単語を理解し、文章を読み解くことができる。	テキスト「リハビリテーションの基礎英語」その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 リハビリテーションに関する単語を学習する(20分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter I(What is Rehabilitation?)		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療の現場で使われている基本的な専門用語を理解することができる。医療現場に必要な基本的な用語について理解し、使うことができる。	テキスト「リハビリテーションの基礎英語」その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 小テストに向けて復習する(40分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter II (Fundamentals of the Human Body for Rehabilitation) 第1回　小テスト		

授業の方法		内　　容		使用教材	
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体的運動に必要な人体に関する基礎知識を理解し、英語で表現することができる。	テキスト 「リハビリテーションの基礎英語」 その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 教科書のVocabularyを予習する(30分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter II (Fundamentals of the Human Body for Rehabilitation)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体的運動に必要な人体に関する基礎知識を理解し、英語で表現することができる。	テキスト 「リハビリテーションの基礎英語」 その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 教科書のVocabularyを予習する(30分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter II (Fundamentals of the Human Body for Rehabilitation)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体的運動に関わる骨格・間接・筋肉・神経系の人体の構造と機能についての英単語を理解することができる。また、ADLをはじめとした身体訓練に必要な用語や表現を使いこなすことができる。	テキスト 「リハビリテーションの基礎英語」 その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 教科書のVocabularyを予習する(30分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter III (The Structure of the Human Body)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体的運動に関わる骨格・間接・筋肉・神経系の人体の構造と機能についての英単語を理解することができる。また、ADLをはじめとした身体訓練に必要な用語や表現を使いこなすことができる。	テキスト 「リハビリテーションの基礎英語」 その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 教科書のVocabularyを予習する(30分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter III (The Structure of the Human Body)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者に対応するときに必要な挨拶表現とともに、身体状況を問う英語表現や用語を理解し、使いこなすことができる。	テキスト 「リハビリテーションの基礎英語」 その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 小テストに向けて復習する(40分) 事後学習 授業内容のまとめノートの作成(20分)
		各コマにおける授業予定	Chapter IV (Diseases and Rehabilitation) 第2回　小テスト		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折や腰痛、関節リウマチなどの疾患についての用語を理解し、リハビリテーションの方法に関する文書を読み解くことができる。また、それぞれの疾患についての運動療法について、英語で理解することができる。	テキスト 「リハビリテーションの基礎英語」 その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 教科書のVocabularyを予習する(30分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter IV (Diseases and Rehabilitation)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折や腰痛、関節リウマチなどの疾患についての用語を理解し、リハビリテーションの方法に関する文書を読み解くことができる。また、それぞれの疾患についての運動療法について、英語で理解することができる。	テキスト 「リハビリテーションの基礎英語」 その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 教科書のVocabularyを予習する(30分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter IV (Diseases and Rehabilitation)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折や腰痛、関節リウマチなどの疾患についての用語を理解し、リハビリテーションの方法に関する文書を読み解くことができる。また、それぞれの疾患についての運動療法について、英語で理解することができる。	テキスト 「リハビリテーションの基礎英語」 その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 教科書のVocabularyを予習する(30分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter IV (Diseases and Rehabilitation)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折や腰痛、関節リウマチなどの疾患についての用語を理解し、リハビリテーションの方法に関する文書を読み解くことができる。また、それぞれの疾患についての運動療法について、英語で理解することができる。	テキスト 「リハビリテーションの基礎英語」 その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 小テストに向けて復習する(40分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	海外旅行・医療現場で役立つ英語表現		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体用語やリハビリテーションに関する英単語を理解し、必要な英語表現を使って自己表現ができる。	テキスト 「リハビリテーションの基礎英語」 その他必要な資料は授業中に配布する。	事前学習 これまで授業で学んだ単語・表現の総復習(30分) 事後学習 まとめ学習(30分)
		各コマにおける授業予定	第3回小テスト まとめ		